作成日：2026 年 9 月 11 日

研究協力のお願い

昭和医科大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

静脈内造影 High resolution Cone Beam CT におけるテストインジェクションを用いた撮影開始時間個別化の有用性　固定法との比較

１．研究の対象および研究対象期間

2024 年 1 月 1 日から 2026 年 9 月 10 日までに、昭和医科大学藤が丘病院で、脳動脈瘤の治療後の状態などを確認するため、腕の静脈から造影剤を入れて頭部のコーンビーム CT 撮影を受けた患者さんを対象とします。すでに通常の診療で撮影され、病院に保存されている画像と診療記録を使用します。

２．研究目的・方法

腕の静脈から造影剤を入れて頭部を撮影する際には、造影剤を入れ始めてから 13 秒後に撮影を開始する方法と、少量の造影剤を事前に入れ、頭の血管に届くまでの時間を確認してから撮影開始時刻を決める方法があります。後者をテストインジェクション法と呼びます。テストインジェクション法は国内外で報告されていますが、この 2 つの方法で撮影された画像を直接比較した報告は、私たちが調べた範囲では確認できません。そこで本研究では、すでに撮影された画像を 2 つの方法に分け、頭の血管が周囲の組織と比べてどの程度はっきり写っているかを数値で比較します。この数値をコントラスト・ノイズ比（CNR）といいます。本研究のために、患者さんへ新たな検査、造影剤の注入または放射線撮影を行うことはありません。

３．研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028 年 3 月 31 日まで

４．研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、身長、体重、これまでにかかった病気、心臓や腎臓の状態、撮影前の血圧と脈拍、点滴を入れた腕や針の情報、造影剤を入れた量と速さ、撮影開始までの時間、撮影条件、放射線量、脳動脈瘤の場所、治療に使用した器具の種類、撮影画像、画像から測定した血管と周囲組織の信号値および画像のばらつきを使用します。氏名や診察券番号は、解析に使用するデータには含めません。

５．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

６．研究組織

本研究で使用する画像や診療情報を、昭和医科大学以外の施設や会社へ渡すことはありません。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学藤が丘病院　放射線技術部　　氏名：髙橋 拓也

住所：〒227-8501 神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30　　電話番号：　045 974 6234